

【特選】

帰り道 「空がオレンジ」と友が言う夕暮れの空に手を伸ばしてみる

神戸市立盲学校

普二

鈴木すずき

美緒みお

【評】

学校帰りなのだろう。一緒に帰る友達が、空の色が今オレンジ色だよ、と教えてくれたのだ。ああ、そうか、オレンジ色なんだ、と夕暮れの空に手を伸ばしてみる作者の鈴木さん。きつと心の中いっぱいオレンジ色が広がったことだろう。さりげない一瞬をとらえて、見事に一首にまとめているのに感心した。事柄だけを詠んでいるようだが、そこには深い感動がにじみ出ている素敵な一首となっている。特に下の句「夕暮れの空に手を伸ばしてみる」に個性的な感受が出ていて素敵である。

【入選】

楽しみだ卒業したら一人暮らしませごはん作り一人で食べる

北海道旭川盲学校

中三

菅原 宏哉
すがはら ひろき

【評】

一人暮らしができるのが、よほどうれしいのだ。しかも好物の「ませごはん」を作って一人で食べたい、と具体的に詠んだのが、いい。

世の中のバリアフリーは進めども今日もつまけふずくこころの段差

神奈川県立平塚盲学校

保一

川口 裕紀
かわぐち ゆうき

【評】

四十九歳の作者、さすがに深い内容の作品である。「こころの段差」に今日もまずいた、というのだ。嘆きと叫びが重く響いてくる。

いつもはねふざけているけどありがとうとう尊敬してます大事な兄貴

愛知県立岡崎盲学校

中三

吉村 よしむら

志恩 しおん

【評】

ストレートに気持ちを吐き出したのが、いい。口ではなかなか言えないことも短歌にしてみるといい、という見本のような作品である。

涼しげな尾鷲の川は夏風に吹かれきれいな水面みなもが動く

愛知県立名古屋盲学校

中二

五味 ごみ

龍仁 りゅうと

【評】

見たものをきっちりスケッチしたのが、いい。夏風に吹かれて動く水面に着目して、そこに焦点を当てているのだ。

車からベルトをしめると怒られて慌てるほどに伸びないベルト

愛知県立名古屋盲学校

普二

畝本 うねもと

惇史 あつし

【評】

最近の車はいろいろ指示をしてくれるが、それに応じるわれわれは結構大変だ。作者の慌てる様子が見えるようだ。

振動が広く伝わる全身に数年ぶりの打ち上げ花火

愛知県立名古屋盲学校

普三

高橋 たかはし

秀静 しゅうせい

【評】 コロナ禍を過ぎてようやく復活した花火大会。振動が全身に伝わる打ち上げ花火、喜びを全身で感じているのだ。

水道と小鳥の音が好きですよあったらいい音、鳴るボタン

岐阜県立岐阜盲学校

小四

岩越 いわこし

愛奈 あいな

【評】 音に敏感な作者だから詠めた作品だろう。好きな音、聞いてみたい音、そんな音
が自由に生まれるボタンがあったら、という願いなのだ。

親友と一緒に行った夏祭り彼女の話はもうやめてくれ

岐阜県立岐阜盲学校

普三

牛タン ぎゅうたん

【評】 おもしろい。親友が「彼女」の話ばかりするから、せつかくの夏祭りも面白くな
い作者。心情がよく出ている。

僕の手は音を奏でる文字を読む世界につながる大切な手

広島県立広島中央特別支援学校

中一

坊田ぼうた

惣祐そうすけ

【評】

「手」に対する格別な思いが詠われている。そうだ、世界につながる「手」なのだ。こうした個性を、どんどん詠んでほしいものだ。

大都会ここが噂の東京かまるで迷路だ人が多くて

広島県立広島中央特別支援学校

普一

柁沢ますざわ

桜香おうか

【評】

まさに、「発見」のある作品だ。自分独自に、自分の体感を詠んでいるのが、いい。上の句も率直で、おもしろい。

【佳作】

劇練習走れメロスだがんばるぞなりきりたいな王様役に

北海道旭川盲学校

中三

中山 瑠太
なかやま りゅうた

友達の大丈夫という一言で気分和らぐ凄い一言

北海道札幌視覚支援学校

普一

伏見 心来
ふしみ みく

窓開けて外眺むれば白々とアカシアの香る朝の風より

秋田県立視覚支援学校

専報一

飯村 人美
いむら ひとみ

「ひさしぶり！」毎日聞いたその声と落ち着く笑顔変わらないよね

福島県立福島視覚支援学校

普三

石井 葵
いしい あおい

夏祭り太鼓の音が鳴り響く私も一緒に叩いてみたい

茨城県立盲学校

中一

内田 うちだ

朱花 しゅうか

また明日微笑みあつた帰り道雨上がりの空夕焼けと虹

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園

普二 太田 おおた

愛菜 まな

手を振ってあなたに言うのさようなら笑みの裏には切ない思い

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園

普二

カーン・ファティマ・フランシスコ

宇宙にはパラレルワールドあるのかな？別の宇宙は存在するの？

筑波大学附属視覚特別支援学校

中二

茂野 しげの

琉來 りく

秋の道キンモクセイの木の前で思わず鼻をくくんさせ

筑波大学附属視覚特別支援学校

中二

友重 ともしげ

真生 まさき

文化祭すてきな発表届けたいちよっぴり不安でもふきとばせ
キンモクセイ道を歩けばふんわりと甘い香りが私を包む

千葉県立千葉盲学校

中二

倉持 くらもち

杷奈 はな

がんばるぞやったーすごい！歩行器で先生といっしょ前へ前へと

神奈川県立相模原中央支援学校

小六

小野 おの

結芽 ゆめ

秋風がどーっとふいて木々が揺れまるで誰かがいるかのようだ

神奈川県立平塚盲学校

普一

小川 おがわ

海空 みく

ガタンゴトン憂鬱な朝に生あくび学校まではあと駅二つ

新潟県立新潟よつば学園

普二

佐藤 さとう

向晟 こうせい

夏休みやってみたいなおつかいをそれをするには自分で歩く

山梨県立盲学校

小六

星野 春 ほしの はる

悪天も白杖ついてゴミ捨てに捨てておこうかと近所のおばちゃん

愛知県立岡崎盲学校

普三

三ツ谷祐太 みつた ぐゆうた

読書中終わりたいのに止まらないあと少しだけでもう少しだけ

愛知県立岡崎盲学校

中二

両星 真衣 りょうほし まい

ジュワツと広がる感じたままらんな美味しく焼いた最高の肉

愛知県立名古屋盲学校

普一

閻 奕學 えん いしゅえ

あこがれの発表会でソナチネをホールに響くピアノの音色 ねいろ

愛知県立名古屋盲学校

普二

岩田 彩花 いわた あやか

満室の旅館で体験布団敷きシーツを伸ばすパン！と音響く

岐阜県立岐阜盲学校

普二

今井 いまい

達彦 たつひこ

寝る前に思い浮かべる友の顔君のおかげで明日が楽しみ

神戸市立盲学校

中二

赤崎 あかさき

珠理 じゅり

床に響くボールの音に身構えるアイシエードの闇高まる心臓

神戸市立盲学校

普二

横田 よこた

朝咲 あさき

ニュースでの爆撃音が心臓えぐる夢であってほしいと祈り続ける

広島県立広島中央特別支援学校

中一

安岡 やすおか

大騎 だいき

方程式数字に囲まれひたすら計算これぞ私の平和な時間

広島県立広島中央特別支援学校

中二

田中 たなか

一華 いちか

「応募のお礼」

第六十七回全国盲学生短歌コンクールにあたり、本コンクールの趣旨にご賛同いただきました皆様と、ご指導くださいました先生方に、心より御礼申し上げます。

残念ながら今回惜しくも選外になられた方々におかれましても、次回、第六十八回コンクールへのご応募を、心よりお待ちしております。

〈ご応募いただいた学校〉

旭川、札幌、秋田、福島、茨城、埼玉、筑波、千葉、
相模原、平塚、新潟、山梨、岡崎、名古屋、神戸、
広島、岐阜

一七校 一九四人 二九六首

岐阜県立岐阜盲学校

郵便番号 五〇〇一八八〇七

住所 岐阜県岐阜市北野町七十番地一

電話番号 〈〇五八〉二六二一―二二七一

F A X 〈〇五八〉二六二一―二八五四

第六十七回全国盲学生短歌コンクール入選歌集

令和六年二月吉日発行

発行 岐阜県立岐阜盲学校

校長 兒玉 哲也

岐阜県立岐阜盲学校高等部生徒会

印刷 株式会社 西清プリント

表紙作品 岐阜県立岐阜盲学校

小学部三年 岩越 愛奈

作品名 『もしくじコケコン』陶